

DIALOG(R) File 352:DERWENT WPI

(c) 2000 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

004008369

WPI Acc No: 84-153911/198425

Skin care toilet article - comprises sheet carrying layer of hydrogel-forming polymer on adhesive layer

Patent Assignee: NAKAMURA K (NAKA-I)

Inventor: NAKAMURA K

Number of Countries: 006    Number of Patents: 007

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Main IPC	Week
EP 111301	A	19840620	EP 83112301	A	19831207		198425 B
JP 59105407	A	19840618	JP 82213930	A	19821208		198544
JP 85045522	B	19851009					198544
US 4631227	A	19861223	US 83558114	A	19831205		198702
IT 1179705	B	19870916					199036 N
EP 111301	B	19910403					199114
DE 3382239	G	19910508					199120

Priority Applications (No Type Date): JP 82213930 A 19821208

Cited Patents: A3... 8543; DE 1911095; FR 2055054; FR 2441390; GB 1061557;

No-SR. Pub; No. SR. Pub; US 3567118; US 3972995; US 4235237

Patent Details:

Patent    Kind    Lan    Pg    Filing Notes      Application    Patent

EP 111301    A    E    20

Designated States (Regional): DE FR GB IT

EP 111301    B

Designated States (Regional): DE FR GB IT

Abstract (Basic): EP 111301 A

Toilet article comprises sheet-like material carrying an adhesive layer upon which is formed a layer of hydrogel-forming polymer, preferably conter-free cosmetics e.g. for skin care. Pref. the adhesive ls exposed portions for securing the article in place upon the skin, e.g. overnight.

Opt. a porous layer is located between the adhesive layer and the hydrogel-forming polymer layer, and another porous layer is above it and below a release sheet.

1/11

Abstract (Equivalent): EP 111301 B

A toilet article for refreshing the skin or healing skin discomfort caused by sunburn, comprising: (a) a sheet-like support (1); (b) an adhesive layer (2) formed on said sheet-like support (1); (c) a cosmetic retainable layer formed on said adhesive layer (2) comprising a hydrogel formable polymer (3), which is present in an essentially dry condition but having thperty of swelling and forming a gel when water or a substance containing water is applied, said gel retaining at least 10 times its weight of water and is selected from: crosslinked substances of alkali metal salt of carboxymethylcellulose, alkali metal salt of polyacrylic acid, crosslinked substances of polyalkylene oxides, carboxyl metal salts formed from

cellulose-acrylonitrile graft polymers, and (c) alkali metal salts formed from starch-acrylonitrile graft polymers and (d) a releasing sheet (4).

(12pp)

Abstract (Equivalent): US 4631227 A

Cosmetic article comprises (a) a sheet-like material; (b) an adhesive layer formed on (a); and (c) 1 or more hydrogel-formable crosslinked alkali metal salt of carboxymethylcellulose and/or crosslinked polyalkylene oxide sheet. Sheet (c) is dry, but can swell and form a gel when water at ambient temp. (or substance containing it) is applied. Gel retains 10 times or more its own wt. of water.

Pref, article also comprises a releasing sheet covering (c) and (b); a porous layer between (b) and (c); or a porous layer on (c). A bonded area is formed at outer edges of porous layers overlapping with each other.

USE - As a tool for beauty treatment to refresh facial skin, a tool for healing sunburnt skin, or medical tool for remedying bruise or sprain.

(9pp)

Derwent Class: A96; D22; P24; P28; P34; P73; Q36

International Patent Class (Additional): A45D-040/00; A45D-044/22;

A47L-013/16; A47L-017/00; A61K-007/00; A61L-015/00; B32B-003/00;

B32B-005/22; B65H-000/00

?S PN=JP 62093210

S4 1 PN=JP 62093210

?T 4/7/1

4/7/1

DIALOG(R)File NT WPI

(c) 2000 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

007154858

WPI Acc No: 87-154854/198722

Antimicrobial skin pack - contains cationic modified polyvinyl alcohol

Patent Assignee: SHISEIDO CO LTD (SHIS )

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Main IPC	Week
JP 62093210	A	19870428	JP 85231744	A	19851017		198722 B

Priority Applications (No Type Date): JP 85231744 A 19851017

Patent Details:

Patent	Kind	Lan	Pg	Filing Notes	Application	Patent
JP 62093210						

Abstract (Basic): JP 62093210 A

Cationic denatured polyvinyl alcohol is compounded.

USE/ADVANTAGE - The material forms soft films which closely adheres to the skin, and is easily peeled. It also has skin cleansing effect and antimicrobial activity. Smooth feeling is provided to the skin after peeling without causing irritation.

FILED 9/29/00

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公告

⑫ 特許公報(B2)

昭60-45522

⑬ Int. Cl.

A 45 D 44/22

識別記号

庁内整理番号

6671-3B

⑭ 公告 昭和60年(1985)10月9日

発明の数 2 (全7頁)

⑮ 発明の名称 化粧用具

⑯ 特 願 昭57-213930

⑰ 公 開 昭59-105407

⑱ 出 願 昭57(1982)12月8日

⑲ 昭59(1984)6月18日

⑳ 発 明 者 中 村 憲 司 大阪市東淀川区西淡路6丁目3番41号

㉑ 出 願 人 中 村 憲 司 大阪市東淀川区西淡路6丁目3番7号

㉒ 代 理 人 弁理士 山本 菊枝

審 査 官 八 巻 惺

㉓ 参 考 文 献 実開 昭54-142958 (JP, U) 実開 昭49-50175 (JP, U)

1

2

## ㉔ 特許請求の範囲

1 皮膚に貼着固定して使用する化粧用具であつて、ベースとなるシート状素材1と、前記シート状素材1に接着された、化粧料の含浸可能なハイドロゲル生成高分子体層3と、皮膚に化粧用具を貼着固定するための固定手段2、11とからなり、前記固定手段2、11はハイドロゲル生成高分子体層3を覆うことなく前記シート状素材1に設けられていることを特徴とする化粧用具。

2 シート状素材1がハイドロゲル生成高分子体層3よりも広く、ハイドロゲル生成高分子体層3に覆われていない前記シート状素材1の部分に塗布された感圧接着剤層2が前記固定手段となつている特許請求の範囲第1項記載の化粧用具。

3 固定手段がシート状素材1に設けられたテープ状物11である特許請求の範囲第1項記載の化粧用具。

4 皮膚に貼着固定して使用する化粧用具であつて、ベースとなるシート状素材1と、化粧料の含浸可能なハイドロゲル生成高分子体層3と、該ハイドロゲル生成高分子体層3と重なり合つた多孔質材層5、7と、皮膚に化粧用具を貼着固定するための固定手段2、11とからなり、前記ハイドロゲル生成高分子体層3と多孔質材層5、7は重なり合つた状態で前記シート状素材1に接着され、前記固定手段2、11はハイドロゲル生成高分子体層3を覆うことなく前記シート状素材1に設けられていることを特徴とする化粧用具。

5 多孔質材層7がハイドロゲル生成高分子体層3とシート状素材1の間に設けられている特許請求の範囲第4項記載の化粧用具。

6 多孔質材層5がシート状素材1とは反対側のハイドロゲル生成高分子体層3の表面に設けられている特許請求の範囲第4項記載の化粧用具。

7 多孔質材層5、7がハイドロゲル生成高分子体層3の両側に設けられている特許請求の範囲第4項記載の化粧用具。

8 前記2層の多孔質材層5、7の外縁が互いに接合され、その内部にハイドロゲル生成高分子体層3が入っている特許請求の範囲第7項記載の化粧用具。

9 シート状素材1がハイドロゲル生成高分子体層3よりも広く、ハイドロゲル生成高分子体層3に覆われていない前記シート状素材1の部分に塗布された感圧接着剤層2が前記固定手段となつている特許請求の範囲第4項記載の化粧用具。

10 固定手段がシート状素材1に設けられたテープ状物11である特許請求の範囲第4項記載の化粧用具。

## 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は化粧効果を持続させるための化粧用具に関するものである。

〔従来の技術〕

近年、皮膚賦活効果のある薬剤を配合した化粧品が多用されてきている。

これらの化粧品を使用する目的は、それに含まれた薬剤を皮膚から吸収させて、皮膚の賦活を図り、それによつて美容効果を高めることにある。

これらの化粧品は、ローション類、乳液、クリーム類として、あるいはバツク類として、皮膚の皺になり易い部分に重点的に使用されることが多い。

そして、これらの化粧品を使用する際には、化粧を落とし、その後、素肌の表面（顔面の目的箇所）に塗布し、比較的長時間そのままにしておくことによつて、皮膚賦活効果を求めることを特徴としている。従つて、これらの化粧料は、睡眠中にその皮膚賦活効果を得るために、就寝前の肌の手入れに用いられ、あるいはバツク用化粧料として、バツク時に使用される。このような化粧品は、ナイトローションやナイトクリームの名称で、あるいはバツクの名称で販売されている。

また、皺のぼしおよび皮膚の汚れの除去を目的とした化粧用貼付剤が実開昭49-50175号公報において提案されている。この化粧用貼付剤は、布帛またはフィルム的一面に40°C以下で溶融しない化粧用原料層を設け、その上に感圧接着剤層を形成したものである。前記化粧用原料層はゴム等の化粧用原料支持体に化粧用原料を混入して、または40°C以下の融点を有する化粧用原料と40°C以上の融点を有する化粧用原料とを混合して、40°C以下では溶融しない状態すなわち固形状であるようにしている。

〔発明が解決しようとする問題点〕

前述のナイトローション、ナイトクリーム、バツク等の化粧料の使用目的を考慮すると、より効果的な美容法とは、肌に塗布された化粧料が体温、気温等で簡単に乾燥されることがなく、しかも、皮膚表面からの吸収が良好なようにすることである。

しかしながら、通常行なわれているように化粧料を直接素肌に塗布しただけでは、化粧料が体温によつて乾燥して効果が半減したり、また、就寝中に蒲団や枕カバーで拭き取られてしまい、効果が失われる等の問題を有している。

他方、前述の実開昭49-50175号公報において提案された化粧用貼付剤の場合、一般的に感圧接着剤層はゴム系、アクリル酸エステル系、ポリエステル系などの成分からなるものであり、このよ

うな成分からなる感圧粘着剤層を40°C以下で溶融しない固形状の化粧用原料層の化粧料が透過して皮膚に作用すると言うことは、実際問題としてはほとんど生じない。もし、油脂分、粉末成分、界面活性剤等の化粧料成分が感圧接着剤層に浸透していれば、感圧接着剤層の接着機能が失われてしまうと言う問題が生ずる。更に、感圧粘着剤は有機溶剤を含んでいるので、化粧料と直接に長時間接触していると、化粧料が変質して、皮膚障害の原因となり得る。このように、この化粧用貼付剤は実用に供することはできない。

また仮に、上述のような問題が全て解決できたとしても、前記化粧用貼付剤では、それ自体に化粧料が含まれているので、使用者は任意の化粧料を選択することができず、従つて自分の肌の性質、状態、使用目的の合せて化粧料を任意に選べないと言う問題がある。

〔発明の目的〕

本発明は、前述の背景に鑑みてなされたものであり、その目的とする点は、使用時に任意の化粧料を含ませ、その化粧料の効果を高め且つ持続させるような一種の化粧用補助用具を提供することにある。すなわち、任意の化粧料を使用でき、その化粧料が直接皮膚に接触し且つ化粧料が体温や気温で乾燥され難く、化粧料の効果を持続させると共に、バツク効果（例えば、皮膚面から水分が蒸発するのを防止して、表皮角質層を柔軟にして皮孔を拡げ、有効成分が皮膚に吸収され易くし、しかも剝離時に皮膚表面の污垢を除去する等の効果）も良好に奏せられる化粧用具を提供することにある。

更に、他の目的としては、塗布した化粧料が就寝中に寝具等で拭き取られることもなく化粧効果を持続させるための化粧用具を提供することにある。

〔発明に至る経過〕

当初本発明者は、本発明の目的を踏まえ、感圧接着剤塗布シートの感圧接着剤層面的一部分にガーゼやネル、不織布、コットン（綿花）シート等の繊維シートを貼着し、この貼着繊維シートに目的化粧料を含浸したものを皮膚の対象部に貼り、効果を試みた。

結果としては、感圧接着剤塗布シートの効果、すなわち、ずり落ちない、あるいは、目的個所に

5

確実に貼り付けが可能であるという効果は得られた。しかし、化粧料を前述のように繊維シート類に含浸したのでは、化粧料の保持性が悪く、このためローションタイプや乳液タイプの化粧料を含浸した場合には、外部に浸み出したり、また、たれ落ちたりして、実用に供し得なかつた。

そこで種々検討を重ねた結果、ベースとなる接着剤塗布シートの効果を生かしながら、化粧料を含浸し保持するための素材として、ハイドロゲル生成高分子体を接着剤層の表面に貼着することによつて使用時に浸み出しや、たれ落ちもなく良好に使用できることを見出した。

(問題を解決するための手段)

本発明によれば前述の問題を、ベースとなるシート状素材と、前記シート状素材に接着された、化粧料の含浸可能なハイドロゲル生成高分子体層と、皮膚に化粧用具を貼着固定するための固定手段とからなり、前記固定手段はハイドロゲル生成高分子体層を覆うことなく前記シート状素材に設けられている、皮膚に貼着固定して使用する化粧用具によつて解決した。

同様に前述の問題を、ベースとあるシート状素材と、化粧料の含浸可能なハイドロゲル生成高分子体層と、該ハイドロゲル生成高分子体層と重なり合つた多孔質材層と、皮膚に化粧用具を貼着固定するための固定手段とからなり、前記ハイドロゲル生成高分子体層と多孔質材層は重なり合つた状態で前記シート状素材に接着され、前記固定手段はハイドロゲル生成高分子体層を覆うことなく前記シート状素材に設けられている、皮膚に貼着固定して使用する化粧用具によつて解決した。

(実施例)

以下、実施例に基いて本発明を詳細に説明する。

本発明の基本構成としては、第1図および第2図に示す如く、シート状素材1の表面にアクリル系樹脂、ポリエステル系樹脂、またはゴム系よりなる粘着状の感圧接着剤層2が設けられている。

シート状素材1は、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、ポリアミド、ポリウレタン、ビニロン、レーヨン、ポリビニルクロライド等の柔軟な合成樹脂から得られるフィルム、織布若しくは不織布シート、または開孔フィルム等である。

6

なお、シート状素材1は無孔のフィルム状のものでよいが、フィルムに通気穴6を熱針で開孔したものや、繊維を織布または不織布として構成して、通気穴6を形成しておく、肌の皮膚呼吸を阻害しないので、より好ましい。

感圧接着剤層2は、ロールコート、ナイフコート、印刷処理等でシート状素材1の上に形成すればよい。

第1図および第2図に示した実施例においては、前記感圧接着剤層2の表面に、ハイドロゲル生成高分子体層3が形成されており、ベースとなるシート状素材1がハイドロゲル生成高分子体層3よりも広く、ハイドロゲル生成高分子体層3に覆われていない前記シート状素材1の部分に塗布された感圧接着剤層2によつて、本発明の化粧用具の皮膚への固定が行われる。

本発明に用いるハイドロゲル生成高分子体は、吸水状態においてゲルを形成するものであり、その保水力（水中に浸漬して水分を吸収させ次いで遠心脱水した後になお保持される水の量）は数十倍から数百倍程度にも達し、従つて、少々の外圧がかかっても一旦吸収した液体を簡単に放出することはない。通常の吸水紙の吸水量を1とした場合、コットン（綿）、パルプのそれは1.4であることを考慮するとハイドロゲル生成高分子体は、通常の繊維類の繊維間吸水量や繊維内吸水、保水量と比較しても極めて、吸水、保水性能に優れている。

本発明に使用されるハイドロゲル生成高分子体としては、例えば、特開昭56-15458号公報、特公昭47-17965号公報等に開示されているものが使用可能であるが、代表的なものとしては、カルボキシメチルセルロースのアルカリ金属塩の架橋生成物、ポリアクリル酸の金属塩、ポリアルキレンオキシサイド架橋生成物、セルロースーアクリロニトリルのグラフト重合体より生成せしめたカルボキシルアルカリ金属塩、澱粉ーアクリロニトリルのグラフト重合体より生成せしめたカルボキシルアルカリ金属塩、等があり、その何れもが良好な吸水性と保水性を有するものである。

ハイドロゲル生成高分子体については前述した如く、水を吸収してゲル状になるものであり、極めて吸水、保水に富むものであり、乾燥状態では一般的には、シート状、粉末状の何れかの形態を

とる。

第2図に示した実施例では、シート状のものがよい。このシート状ハイドロゲル生成高分子体を所望の寸法、形状にカットしてシート状素材1の上に形成した感圧接着剤層2の表面に貼付する。このときに感圧接着剤層5の全面にハイドロゲル生成高分子体貼付すると皮膚への固定手段がなくなるため感圧接着剤層2の一部を残して、ハイドロゲル生成高分子体層3を形成する。なお、感圧接着剤層2の全表面にハイドロゲル生成高分子体を貼付した場合は、皮膚への固定をはかるために別に適宜の固定手段、例えば感圧接着剤の付いた糸状物、テープ状物等適宜形状のものを使用すればよい。

ハイドロゲル生成高分子体層3および感圧接着剤層2は離型シート4によつて被覆される。

離型シート4としては、紙若しくはセロハンにワックス、パラフィン、若しくはシリコン等の非粘着物を含浸若しくは塗布されたシート、またはポリエステル、ポリブレン、ポリエチレン等のフィルム単体か若しくはこれらの表面にシリコン樹脂若しくはフッ素樹脂系のコーティングを施したシートが良好である。

離型シート4により被覆する際には、ハイドロゲル生成高分子体層3も感圧接着剤層2も完全に覆う形態が望ましい。この場合、離型シート4は、1枚でもよいが、第1図に示すように2枚で端部から中心部に向つて覆い、中心部でオーバーラップさせて被覆しておくとき使用時の剥離が容易に行える。

第3図は本発明の別の実施例を示す断面図である。この実施例ではシート状素材1の表面に感圧接着剤層2が形成され、この感圧接着剤層2に多孔質材層7が貼着されている。この多孔質材層7の表面に、ハイドロゲル生成高分子体層3が形成されている。そして、ハイドロゲル生成高分子体層3および感圧接着剤層2は離型シート4によつて被覆される。

このように感圧接着剤層2とハイドロゲル生成高分子体層3の中間に、多孔質材層7を形成しておくとき、ハイドロゲル生成高分子体の定着をより安定にし、且つハイドロゲル生成高分子体層3の吸水、保水効果はより高められる。これは、ハイドロゲル生成高分子体層3が感圧接着剤と接合さ

れていない分、効果的である。

前記多孔質材層7はガーゼ若しくはコットンシート、織布、不織布、紙、または薄手の発泡スポンジ等が良好であり、これとハイドロゲル生成高分子体層3の接合は積層して予め打抜き処理を行なえば、端部が強圧接合する。

更に、必要に応じ若干の接着剤を塗布してもよい。

第4図に示す実施例では、シート状素材1の表面に感圧接着剤層2が形成され、この感圧接着剤層2にハイドロゲル生成高分子体層3が貼着されている。このハイドロゲル生成高分子体層3の表面に、多孔質材層5が形成されている。そして、多孔質材層5および感圧接着剤層2は離型シート4によつて被覆される。

このようにハイドロゲル生成高分子体層3と離型シート4の中間に多孔質材層5を形成しておくとき、本発明品を使用する時点で皮膚に接する部分がサツパリ感があり、使用感に富むものである。

第4図に示す実施例の多孔質材層5は前述した第3図の実施例の多孔質材層7と全く同様なものである。そして、多孔質材層5とハイドロゲル生成高分子体層3との接合方法も前記第3図を参照して説明した事項と同様に行なうものである。

第5図に示した実施例は、第3図の実施例の特性と第4図の実施例の特性を兼備したものであり、ハイドロゲル生成高分子体層3が2つの多孔質材層5, 7の中間に配設されたものである。

すなわち、第1の多孔質材にハイドロゲル生成高分子体を重ねた後、更にハイドロゲル生成高分子体の表面に第2の多孔質材を重ねて積層し、この積層体を、強圧プレス刃でカットし所望の大きさとし、これを感圧接着剤層に貼付したものである。

各層間は強圧プレスにより圧着接合部を有するが、若干の接着剤を各層間に点状に塗布しておくとき、より効果的である。

第6図に示す実施例は、第5図に示す実施例と同様にハイドロゲル生成高分子体層3が2つの多孔質材5, 7の中間に配設されたものである。

この実施例は第5図の実施例とはほぼ同じであるが、製造方法が第5図の場合と異なるものである。

すなわち、2つの多孔質材5, 7を製袋すると

きにハイドロゲル生成高分子体を内包して袋状に仕上げ、そのものを感圧接着剤層に貼付するものである。

従つて、この実施例の場合には、第1および第2の多孔質材にホットメルト接着性を有する熱可塑性合成樹脂剤を塗布しておくか、または、多孔質材の表面に前記樹脂材を塗布しておく、より確実に製袋できる。

また、この内包時に必要に応じて、ハイドロゲル生成高分子体と共に化粧薬剤等も同封してもよい。

本発明の化粧用具は前述の如く形成されるものであり、その使用に際しては、先ず離型シート4を剝離した後、乾燥状態のハイドロゲル生成高分子体層3または第1の多孔質材層5の表面に化粧料を塗布または含浸する。なお、多孔質材層付の場合は少し指先で押えてハイドロゲル生成高分子体層3に化粧料を接触させるようにする。

ここに用いる化粧料は、クリーム状、乳液状、溶液状等の水分を含んだものであり、好ましくは、皮膚賦活効果のある薬剤（例えば、ビタミン類、アミノ酸類、酵素剤等）や、皮膚表面の汚れを吸着する性質を有する物質（例えば、カオリン、タルク等）を配合した化粧料がよい。化粧料は使用者の肌の性質、状態、使用目的等に応じて任意に選べる。

このように化粧料を本発明の化粧用具に含浸させると、化粧料の水分により、ハイドロゲル生成高分子体層3はゲルの状態となり、膨潤現象を呈する。

この状態において、目的個所に貼り付け、周縁の感圧接着剤層をシート素材裏面から皮膚に圧着させ固定化させる。このようにして、皮膚面に固定化された本発明の化粧用具は簡単に皮膚面から落ちることはなく、就寝中も安定して貼付されている。

第7図および第8図は別の実施例を示すものである。この実施例ではシート状素材1に形成した接着剤層2を介して、ハイドロゲル生成高分子体層3がシート状素材1の全面に貼付されている。接着剤層2は感圧接着剤に限らず、適宜なものを使用できる。

第7図はマスク状のもので、目に対応する個所に穴10が開けられている。

第8図は目尻の部分に適合するような形状のものである。

第7図および第8図に示したものは、ハイドロゲル生成高分子体層3がシート状素材1の全面を覆っているので皮膚への固定をはかるために別に適宜の固定手段を用意する。

固定手段としては、第7図に示すように、糸状物に感圧接着剤を塗布したもの、第8図に示すようにテープ状物に感圧接着剤を塗布したもの、あるいは適宜形状のシート状物に感圧接着剤を塗布したもの等を用いることができる。また、端部がシート状素材1に固定可能な紐状（テープ状）のものを、例えば2本、用意して、自由端を結ぶことによつて固定するようにしてもよい。この方法は、第7図のマスク状のものには殊に有効である。また、マスク状の場合はマスク状化粧用具で顔を覆った後、輪状の弾性体を頭の回りに巻いてマスクを上から押えるようにしてもよい。

このように、固定手段11はシート状素材1に予め取着していてもよいが、使用時にシート状素材1に取着するようにしてもよい。

第7図および第8図に示した化粧用具を製造するには、先ずシート状素材1（これは連続上シート状物でもよい）の片面に接着剤層2を塗布、印刷等により形成する。その上にシート状のハイドロゲル生成高分子体層3を塗布する。打抜き機により適宜形状に前記積層物を打抜く。固定手段11は化粧用具に固着しておいてもよいし、固着しておかなくてもよい。

#### 30 〔発明の効果〕

本発明の化粧用具によれば、ハイドロゲル生成高分子体に任意の化粧料を含浸させることができ、従つて、使用者は自分の肌の性質（乾性肌、脂性肌等）、状態、使用目的に応じて使用化粧料を自由に選ぶことができる。しかも、使用直前に化粧料を含ませるので、化粧料が変質する虞がない。

また、ハイドロゲル生成高分子体の特性により、化粧用具に塗布された化粧料は体温や気温によつて乾燥されないで、化粧料の有する皮膚賦活効果やバック効果を長時間維持するものである。

更に、本発明では、ハイドロゲル生成高分子体の表面には感圧接着剤が塗布されておらず、ハイ

11

ドロゲル生成高分子体に含ませた化粧料が直接皮膚に接触するので、化粧料が効果的に作用する。

加えて、本発明の化粧用具によれば、塗布した化粧料が就寝中に寝具等で拭き取られることもない。

上述の化粧料の有する皮膚賦活効果やバック効果の長時間維持、化粧料の皮膚直接接触効果および就寝中の化粧料拭き取り防止効果等により、本発明の化粧用具を就寝前に用いると、就寝中の長時間に亙り常に化粧料は塗布時の状態を保つたまま皮膚面に接触しており、その効果を発揮する。

また、使用する化粧料によつて、皮膚の賦活目的だけでなく、バック効果を求めたり、夏場の日射光による皮膚炎症の手入にも同様に使用できる。

加えて、吸熱剤等を含浸させた場合には打ち身、捻挫等シブ財用等の医療用具としての応用用途も充分可能となり、付加価値の大きな用具として提供できるものである。

図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る化粧用具の斜視図、第2

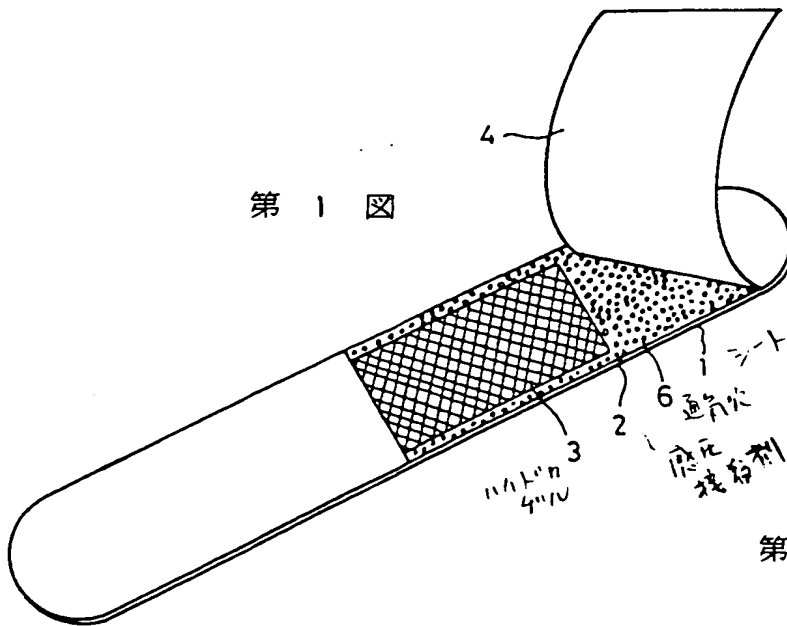
12

図は本発明に係る化粧用具の断面図、第3図は本発明に係る化粧用具の断面図で、感圧接着剤層とハイドロゲル生成高分子体層間に多孔質材層が設けられているもの、第4図は本発明に係る化粧用具の断面図で、ハイドロゲル生成高分子体層と離型シート間に多孔質材層が設けられているもの、第5図は本発明に係る化粧用具の断面図であり、感圧接着剤層とハイドロゲル生成高分子体層の間に多孔質材層が設けられ、且つハイドロゲル生成高分子体層と離型シート間にも他の多孔質材層が設けられているもの、第6図は、本発明に係る化粧用具の断面図で、第1の多孔質材層と第2の多孔質材層の重合該縁部に接合部が設けられているもの、第7図および第8図はそれぞれ本発明の他の実施例の斜視図である。

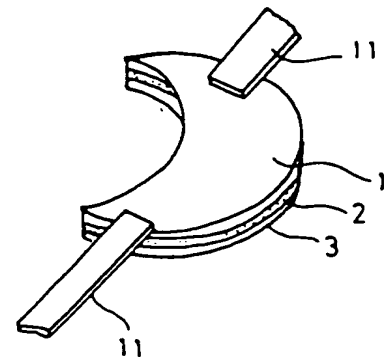
1…シート状素材、2…感圧接着剤層、3…ハイドロゲル生成高分子体層、4…離型シート、5…多孔質材層、6…通気孔、7…多孔質材層、8…接合部。

20

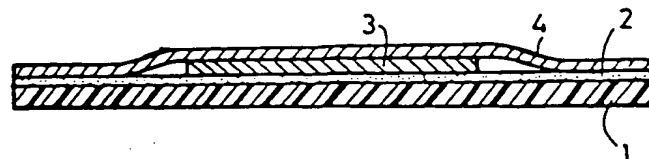
第1図



第8図

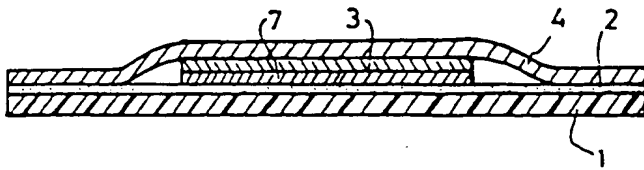


第2図

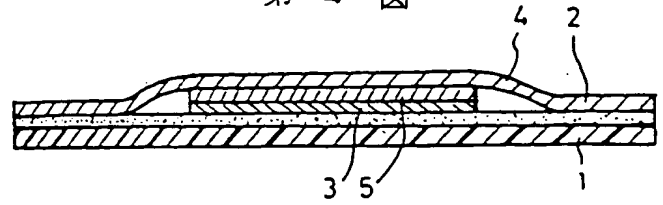




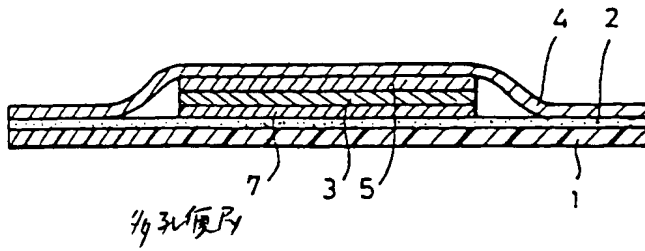
第 3 図



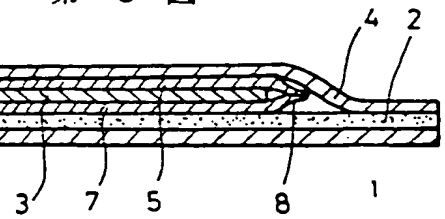
第 4 図



第 5 図



第 6 図



第 7 図

